

福祉サービス第三者評価 評価結果

にじいろ保育園サクセス久里浜ポピー

横須賀市久里浜 4-12-2 リヴィエール久里浜 2・3 階

運営主体：株式会社サクセスアカデミー

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類別評価結果	5～12 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	13～19 ページ
利用者本人調査分析	20～21 ページ
事業者意見	22 ページ

2007 年 3 月 26 日公表

評価機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	にじいろ保育園サクセス久里浜ポピー		
報告書作成日	2007年3月22日	評価に要した期間	約5ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:2006年10月中旬～12月14日</p>	<p>職員会議等で説明し、常勤職員・非常勤職員の全員が記入した。各個人が記入した結果を各クラス職員と園長と主任、非常勤職員と園長と主任が検討協議した。その後園長と主任で協議し、さらに本部と園長で協議しながらまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:2006年11月24日頃～12月15日</p>	<p>全利用者（園児）の保護者に対して事業者側から手渡し。各保護者より、同封の返送用封筒にて評価機関宛に匿名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 2007年1月23日 第2日 2007年1月26日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前中：各クラスで保育観察や5歳児の聞き取り調査 昼食：各クラスで園児と一緒にいただく 午後：書類調査 栄養士・各クラス責任者・非常勤職員に面接調査 園長・主任に面接調査 降園の様子を観察</p> <p>[第2日] この日は年1回の総合避難訓練 午前中：（登園時より）各クラスの保育観察 5歳児の聞き取り調査 書類調査 昼食：各クラスで園児と一緒にいただく 午後：引き続き書類調査 園長・主任及び本部の事業部長・副部長に面接調査 最後に園長・主任及び本部の事業部長・副部長と意見交換</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 2007年1月23日 第2日 2007年1月26日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて、園内および戸外（公園・道路）で実施。 聞き取り調査は、5歳児以上を中心に、保育中および食事に実施。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

にじいる保育園サクセス久里浜ポピーは、京急久里浜駅に近いマンションの2階、3階に2005年(平成17年)1月に開設されました。定員は60名で、クラス編成は、0歳児、1歳児、2歳児、3～5歳児(2クラス)の5クラスです。

園が入居するマンションは、町工場が散在する住宅街の中にあります。道路を介して久里浜港へ入り込む平作川が流れ、駅周辺には八百屋、魚屋、菓子店等の昔ながらの商店街が並んでいます。

園を運営するのは、病院内保育施設・事業所内保育施設等も運営する(株)サクセスアカデミーです。近くには系列の保育園があり、合同で運動会を行うなど交流をしています。

高く評価できる点

1. 家庭的な雰囲気の中で、子どもたちは和やかに過ごしています。

園は、園庭を持たないという事情から、できるだけ戸外に出ることを職員間で申し合わせ、積極的に実践しています。近くの公園にも遠くの公園にも、子どもたちの成長に合わせて出かけており、運動や遊具遊びの体験をしています。地域の商店街を毎日のように通り、お互いに挨拶を交わしたり、野菜や魚などの話を聞かせてもらったりと、商店の人々とも顔なじみになっています。散歩時の子どもたちは、慣れた様子できちんと道路を歩いており、また年長児が年少児をかばって歩いています。

5歳児は毎日、掃除当番、飼育当番、赤ちゃん当番のいずれかを担当しています。例えば赤ちゃん当番になると、年少組で「布団敷き」「着替え当番」「2歳児を寝かせつける」等の手伝いをします。子どもたちは、異年齢児との交流体験を楽しみにしています。

さらに3～5歳児は、異年齢児の縦割り保育を行っています。保育士は他の保育士とよく連携をとりながら、3～5歳児と一緒に活動させたり、年齢ごとに分かれて活動させたりしており、その動きは保育の内容により自由に組み合わせが行われています。年少の子どもたちも年長児との交流を自然に受け入れており、異年齢児が和やかに落ち着いて過ごしています。

保育理念の「陽だまりのような保育園」が実践されています。

2. 細やかな気遣いにより、保護者との信頼関係が形成されています。

当園は保護者との信頼関係を大切にしています。

園と保護者との情報交換としては、全園児について連絡帳(ひだまりれんらくちょう)があります。保育士は、0・1・2歳児については毎日記入し、3・4・5歳児についてもできるだけ記入して、保護者へ子どもの様子を伝えるようにしています。そして、玄関には、少し大きな文字で書かれた張り紙「きょうのできごと」が掲示されます。保護者は、子どもたちのその日の様子を知ることができます。

毎日の子どもたちの送り迎えに際しては、保育士は玄関で対応しています。2階、3階とも、時間帯によっては玄関が狭く感じられるほど混雑しますが、保育士たちは出来るだけ子どもたちの様子を保護者へ伝えようと努めています。園長も保護者との交流に努めており、週に1度は会話をを行うことを目標にして、相談事にも応じています。

保護者への伝達に関して、例えばケガについては、できる限り速やかに、具体的に詳しく保護者へ伝えるように努めています。

このような園の姿勢や取り組みにより、園と保護者との間に信頼関係が形成されており、それは利用者家族アンケートの結果にも顕著に現れています。

独自に取り組んでいる点

本部の指導のもと、業務の標準化が進められています。

運営母体の（株）サクセスアカデミーにじいる事業部が主導で作成した、業務推進に関するマニュアルが整備され、保育園及び保育に関わる業務の標準化が進められています。園では、事業部作成のマニュアルを参考にして、園の設備状況や保育環境を考慮した独自のものも作成して運用しています。そして、運営・活動などの実績を記録・整理する各種の記載様式も用意されており、業務の評価を次の取り組みへと反映されています。

例えば、ケガについては、発生状況を関係者のコメントも含めてヒヤリハット報告書に記載して、原因の究明や再発防止についての検討を行っています。更に、ケガの大小に関わらず全て事故報告書にまとめて事業部に報告し、事業部では系列の保育園の事例とともに解析し、対応策を各園へフィードバックする仕組みになっています。

このような本部主導による業務の標準化もあり、利用者家族アンケートでは、保護者は子どもの様子に安心し、満足している様子が伺えます。また、職員は日々、様々な研修により、保育の知識・技術等を高めつつあります。保育やその他の諸活動を通じて、常に自己研鑽に努めることは、知見と人間性を深め、保育の知識・技術をより高めることにつながります。

開設3年目を迎え、新しく定められた保育目標「みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛」に沿って、子どもたちが心豊かに安心して毎日を過ごせることを第一に、職員一丸となった取り組みに期待します。

改善や工夫が望まれる点

地域のニーズに応じた子育て支援サービスの更なる推進を

現在、子どもをとりまく環境が大きく変化していく中で、保育園には地域における子育て支援の役割が一層求められる状況にあります。

当園は、開設2年目ですが、年1回、保育開放日を設けたり、運動会では未就園児に参加の種目を計画したりするなどの工夫をして、子育て支援サービスに努めています。また、運動会や夕涼み会には、地域の方々の参加を積極的に呼びかけるなどの取り組みも行っています。

しかし、保育園に対する子育て支援の役割が求められる状況を考慮しますと、関係する団体や機関との交流、また関係者との情報交換などを通して、地域の子育て支援ニーズを把握することが必要です。また、定期的な育児相談や一時保育、地域住民に向けての講習会などの実施等、保育所の持つ専門性を活かした更なる取り組みが望まれます。

1、人権への配慮

- ◇ 保育理念「みんなが輝く 社会のために:1、陽だまりのような保育園 2、地域とともに育つ保育園 3、子どもとともに輝いていける保育園」に基づき、子どもたちは家庭的な雰囲気の中で一人ひとり大切にされ、温かく見守られて園生活を送っています。
- ◇ 虐待についてのマニュアルがあり、職員は研修も受けて、報告・回覧しています。虐待が明らかになった場合や疑わしい場合には、関係機関との連携が取れる体制になっています。
- ◇ 個人情報保護について、職員は研修を受けています。また、ボランティアや実習生も含めて誓約書を提出しています。

2、利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援

- ◇ 保育理念や保育目標は、子どもの個性を尊重し自主性・主体性を育むものになっています。
- ◇ 保育は、園庭がないという事情からできるだけ戸外に出ることを心掛け、また、縦割り保育も積極的に取り入れています。異年齢児が和やかに落ち着いて過ごしています。
- ◇ 園児の送迎時における保護者との交流、連絡帳、保護者懇談会・個人面談などを通して、保護者の意向や要望を把握することに努めています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 運営会社の本部が主導して、保育園や保育に関する各種マニュアルが用意され、業務の標準化が進められています。また、運営・活動などの実績を記録・整理する様式も豊富に用意され、業務の評価を次の取り組みに反映させています。
- ◇ 職員会議、カリキュラム会議、毎朝のミーティング等を通して、保育運営の方針を実施に移し、また、状況に応じて柔軟に対応しています。
- ◇ 健康管理・感染症対策・衛生管理・安全管理について、それぞれマニュアルが整備され、職員は理解しています。避難訓練は、毎月内容を変えて実施しています。
- ◇ 事故発生時は、速やかに園長や本部に報告し、会社全体で事故への対処と再発防止へつなげる体制が出来ています。

4、地域との交流・連携

- ◇ 子どもたちは、日々行われている散歩を通して、近隣の人々、特に商店街の人々と日常的に交流しています。
- ◇ 園庭はありませんが、今年、園の開放を行いました。散歩先の公園では、園外の親子連れから相談を持ちかけられるときもあり、保育士は丁寧に対応しています。園で開催する夕涼み会や近くの体育館で開催する運動会には地域の方々の参加があり、交流が図られています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 保育理念や保育目標は、入社時研修や職員会議で職員に周知するとともに、玄関及び各保育室にも掲示し、実践しています。
- ◇ 中長期計画は本部において作成され、職員会議などを通して職員に示し、園の運営に反映させています。
- ◇ 保護者へは、毎月の園だよりや年2回の保護者懇談会を通して、園の取り組みや行事を伝えています。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 研修は、本部が統括して計画しており、非常勤職員も含め人材育成には力を入れています。
- ◇ 受講した外部研修の内容は報告書にまとめ、会議または回覧により他の職員に紹介し、知識の共有化を図っています。園内研修では、年間の研修テーマを「食育」と「園内環境」に定め、勉強会の成果は実践に移しています。
- ◇ 職員の資質向上については常に力を入れており、職員も向上心をもって自己研鑽に努めています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある


評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。




評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念・保育目標は、子どもの個性を尊重し自主性・主体性を育むものとなっています。 ・保育理念・保育目標は、玄関及び各クラスに掲示し、職員に周知しています。 ・保育計画は、地域の実態や保護者の実状を考慮して作成しています。 ・保育計画に基づき指導計画を作成しており、作成にあたっては、日常の保育を通しての子どもの意見や気持ちを反映するようにしています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に、子どもが自分の対象となる年齢の保育室に保護者と一緒に入り、在園児と一緒に活動する機会を作っています。その時の子どもの様子を観察し、発達状況や課題を把握しています。 ・入園に際し、短縮保育（ならし保育）が必要な場合は、保護者と相談して実施しています。 ・保護者との情報連絡は、連絡帳を設けて行っています。さらに、送迎時には、保育士からも口頭でその日の様子を伝えるように努めています。 ・子どもの発達や状況に応じて、年間指導計画・月間指導計画・週案を作成し、定期的に評価・見直しを行っています。指導計画の作成・見直しにあたっては、保護者との面談、保護者懇談会などを通して保護者の意向を確認し、反映させています。
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室は南東に面して窓が大きいことにより、十分な陽光が取り込まれています。窓の開閉とともに、空調機、空気清浄機の設置・運転により、快適な環境の確保に努めています。また、秋から春にかけては加湿器を設置・運転して湿度の確保にも努めています。 ・沐浴設備、シャワー設備が備わっています。夏季などは、活動後の清涼感と清潔感を保つため、シャワーを浴び、家庭から持参した新しい下着や衣類に着替えています。 ・3歳児から5歳児は異年齢児保育（縦割りクラス）の形をとり、日常的に異年齢児間の交流の場となっています。また、散歩においては、2歳児も3・4・5歳児と共に出かけ、公園で一緒に遊ぶなど、異年齢児

<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<p>交流を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0,1歳児と障がいのある子どもについては、一人ひとりの状況に応じた個別指導計画を作成しています。 ・指導計画は、カリキュラム会議にて作成し、園長・主任が最終確認を行っています。 ・個々の子どもや家庭の状況・要望は、所定の書式に記録し、日常の保育に活かしています。また、進級時等には申し送りをしています。 当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもについては、職員会議の場において話し合い、情報の共有化を図っています。また、記録された情報は、守秘義務の徹底を図るため、鍵のかかる書架で管理しています。 ・障がい児保育については、保護者と連携をとり療育センターより助言や情報を得ています。また、保育士は障がい児保育に関する研修を受講し、その内容は全職員で理解・認識を深めています。 ・アレルギー疾患のある子どもに対しては、保護者との連携を密にすると共に、かかりつけの医師の指示を受け、対応しています。代替食の提供も行っています。 ・保護者が外国籍の子どもに対しては、文化や生活習慣、考え方の違いを尊重する等、適切に配慮するように努めています。子どもたちは自然と園生活に溶け込んでおり、普通の友だち関係を作っています。なお、保護者との間の意思疎通において正確さを求められる場合は、横須賀市の支援を受ける体制ができています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員の氏名・連絡先は、玄関に掲示してあります。また、保護者へ配布している「入園案内」にも記載しています。 ・保護者の意見や要望は保護者懇談会を通して入手していますが、玄関に「めやす箱」を設置して、保護者の意見や要望が出せるようにもしています。 ・要望や苦情に対して、園単独で解決困難な場合には、本部も含めて解決へ向けての体制ができています。また、関係する機関の連絡先を事務室内に掲出して、迅速に対応するように努めています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 344 472 383">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul data-bbox="600 259 1477 1630" style="list-style-type: none">・保育士は、子どもたちが楽しくのびのびと過ごせるようにと保育環境の整備に取り組んでおり、保育士の手で作成された衝立やおもちゃなどがあります。・遊具はコーナーごとに配置されており、教材は、取り出しやすく子どもの目線にあった場所におかれ、子どもたちは自由に好きな遊びを楽しんでいます。・空き箱等の素材が十分に用意されており、子ども達は自由に取り出して遊んだり製作したりしています。・3、4、5歳児は異年齢児保育を取り入れています。遊びや保育の内容によっては年齢ごとにも分かれる等、自由な組み合わせの中で、子どもたちは誰とでも仲良く遊んだり、上の子が下の子の面倒を見たりしています。・5歳児は、掃除当番、飼育当番、赤ちゃん当番を毎日担当しています。たとえば赤ちゃん当番になると、年少組で「布団敷き」「着替え当番」「2歳児を寝かせつける」等のお手伝いをします。・子どもたちは概して落ち着いて園生活を楽しんでおり、和やかな様子があります。・保育士は、園庭がないのでできるだけ戸外へ出かけるように心がけ、時間を見つけて散歩に出かける等の取り組みをしています。また、ベランダでは、プランターや鉢で野菜や花の栽培にも取り組み、子どもたちが少しでも自然に触れる機会を得られるように工夫しています。・子どもたちは、散歩で地域の商店街を通りながら、商店の人との交流を楽しんでいます。商店街の人たちも子どもによく声をかけてくれ、野菜や果物の話をしてくれています。・子どもは登園すると靴下を脱ぎ、はだしで過ごします。散歩の時には靴下を履いて靴を履きます。保育室内では、はだしの感触を楽しんでいます。・毎日の散歩や週1回のリトミックの時間、マットやトンネルを使った運動等を通して、子どもの年齢に応じた運動能力を高める環境作りを心がけています。

<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園は本年度のテーマの一つに「食」を選び、勉強会を実施しています。その成果は毎月の園だよりに掲載し、保護者へ伝えるとともに、食に関するアンケートをとる等、保護者にも食への関心を持ってもらう取り組みを行っています。 ・ランチョンマットを子どもたちと一緒に作り、食に関心を持たせる仕掛けやお話しにも工夫がみられます。 ・食器は磁器を使用し、年齢に応じて大きさを変えています。また行事の折には食器を変える等、子どもに食への関心をもたせる工夫をしています。 ・乳児は、入眠時間と目覚めの時間を午睡表に記載しています。保育士はうつぶせ寝にならないようにとくに気をつけており、午睡中のチェックは10分間に1回実施し、午睡表にも記入しています。 ・5歳児は、秋季体力がついてから、一斉午睡をしていません。排泄は個人差があることを十分に配慮し、トイレトレーニングは保護者とも連携をとりながらすすめています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理マニュアルがあります。毎月体重・身長測定を実施し、発達状況を健康カードに記入して保護者へ渡しています。 ・健康診断や歯科健診を実施しています。その結果は保護者へ報告し、嘱託医やかかりつけ医とも連携をとって子どもの健康に留意しています。 ・子どもたちは、年齢に応じて歯磨きを行っています。乳児はぶくぶくうがいから始め、幼児は歯ブラシを使って保育士の指導の下、クラス全員で歯磨きをします。「キュッキュッと云ってるよ」と確かめ合う姿が見られました。 ・感染症等に関するマニュアルがあり、感染症等が発生したときは素早く保護者へ連絡を取るなどの対応をとっています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理に関するマニュアルがあり、職員は理解しています。 ・清掃は、細かい分担表が作成されており、職員には4月に配布しています。清掃チェックリスト、トイレ清掃チェックリストに沿って清掃を実施しています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [安全管理]



- ・安全管理に関するマニュアルがあり、職員は理解しています。
- ・毎月内容を変えて避難訓練を実施しています。また、年に1回は、大災害を想定しての保護者への引渡し訓練を実施しています。奇数月には、171災害用伝言ダイヤルの訓練も行っています。
- ・4,5歳児は、毎年横須賀市民防災センターへ行き、地震や火災についての防災体験を行っています。
- ・職員は全員、救急救命法を身につけています。
- ・事故発生の場合は、速やかに園長に報告し対処するとともに、事故報告書に記載して全職員で内容を把握し、予防策を話し合います。また、本部へ報告し、さらに本部から系列園にも報告が伝達されます。会社全体で事故に対して取り組み、さらに事故防止へつなげる体制が出来上がっています。
- ・玄関は、オートロック方式を導入し、不審者侵入防止に備えています。

- 3 人権の尊重





- ・職員は、初任時研修で本部作成の「子どもと接する場合の行動規範集」をテキストとして受講しています。また、その概要も記載された「保育ガイド」を職員は全員持ち、身近に置いて参考にしています。
- ・園内では衝立を利用してプライバシーの保護に努めています。
- ・職員は、個人情報の取り扱いや守秘義務について理解するとともに、誓約書を提出しています。
- ・名前の呼び方は、できるだけ「さん」付けで呼ぶように心がけています。遊びの中では、「ちゃん」付けで呼ぶこともあります。
- ・職員は、人権について市の研修を受け、初任時研修でも受講しています。さらに、園内研修を繰り返し実施して、日々の保育の中で実践することを期待します。

- 4 保護者との交流・連携






- ・保育の基本方針は、入園式で保護者へ説明し、園のしおりやパンフレット、ホームページでも紹介し、玄関にも掲示しています。
- ・毎日の送迎時には、保育士は保護者とのコミュニケーションに努めています。また、連絡帳は全園児が持ち、0,1,2歳児は毎日記入、3,4,5歳児もできるだけ記入して、保護者に子どもの様子を伝えるようにしています。
- ・保護者の相談には、園長や担任が応じ、必要な場合は継続して支援していく態勢があります。
- ・園だよりやクラスだよりを毎月発行しています。また、保育室の前には、一日の子どもの様子を書いた「きょうのできごと」という張り紙が毎日掲示されており、保護者は子どもたちのその日の様子を知ることができます。
- ・保護者組織はできたばかりで活動はこれからです。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の特性を活かした地域子育て支援のサービスの一つとして「保育開放日」を設け、地域の親子が気軽に来て遊ぶことができる取り組みをしています。また、公園で会う親子や園見学の人から相談を受けたこともあります。 ・しかし、地域住民に向けて、子育てや保育に関する講習会等を開催したことはなく、地域の子育て支援ニーズを把握することや地域住民に向けての相談事業は今後の課題です。保育園の特性を活かした子育て支援サービスの実施が望まれます。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民へのお知らせは、町内会の掲示板や商店の店先にチラシを貼り出してもらったりしています。 ・地域住民へのお知らせは、町内会の掲示板や商店の店先にチラシを貼り出してもらったりしています。 ・必要な関係機関の連絡先は、電話機のそばに掲示しています。地域の住民へ向けて、保育の専門性を活かした育児相談等を提供することが望まれます。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み会や運動会等の園の行事に地域住民の参加を呼びかけ、地域の人に参加しています。 ・中学校や高校と連携をとり、職業体験等の生徒を受け入れています。 ・市立図書館、市立体育館、公園等を使用し、地域の資源を積極的に利用しています。 ・保育園の施設開放や備品等の貸し出しについては、要望があれば対応する体制となっています。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレット、本部のホームページ等により随時情報の提供を行っています。また、希望者にはサービス内容の詳細や料金、職員体制等の情報をすすんで提供しています。 ・利用希望者が希望する日で見学を受け入れる等、見学希望者の都合にできるだけ対応しています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや実習の受け入れマニュアルがあり、生徒や学生にはマニュアルに沿ってオリエンテーションを行います。また、職員間で事前に打ち合わせを行い、よりよい実習ができるように支援しています。 ・ボランティアや実習生は、守秘義務についての誓約書を園に提出しています。 ・ボランティアや実習生を受け入れるにあたり、園だよりに記載しており、保護者へ紹介しています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の理念や方針に適合した人材の育成については、本部において系列の保育園の状況も含めて、また園の実状や希望も考慮して、統一行的に行っています。 ・ 職員に対する研修体制は、非常勤職員も含めて、本部において作成しています。 ・ 非常勤職員にも業務マニュアルを配布しており、常勤職員との緊密な連携のもと、理念や方針に沿った保育に努めています。 ・ 業務の推進に当たっては、常勤職員と非常勤職員の組み合わせをきめ細かく考慮した当番表を作成しています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は、毎月開催の職員会議、リーダー会議、カリキュラム会議において、保育の状況を課題として話し合う中で、個々の自己評価にも結びつけ、一層の保育サービス向上を目指しています。 ・ 外部から保育の技術の評価・指導等については、本部の指導及び園長経験のある外部の指導者等からの巡回指導を受けています。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経験・能力や習熟度に応じた役割を期待水準として業務マニュアルに明文化しています。 ・ 職員には、子どもたちの状況に応じて自主的に判断できるように、職務分担表が配布され、役割を示しています。 ・ 業務改善に向けての提案等は、職員会議等の他、職員意向調査を通して吸い上げ、実現に向けて取り組んでいます。また、園長は、年2回の面接を通して、職員の業務についての満足度や要望などを把握しています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・法・規範・倫理等は、業務マニュアルの中に明記しており、職員は理解・実践しています。また、新しく入社する職員に対しては、新任研修の中で講義しています。 ・経営・運営等に関する情報は、園長が職員会議で説明しています。 ・牛乳パック、包装紙を保育の材料に使用したり、また、室内の電気をこまめに切ったり、エアコンに頼らず自然の風を取り入れたりする等、リサイクルや省エネルギーに取り組んでいます。 ・環境配慮の考え方を業務マニュアルの中に明記しています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や保育目標は明文化し、園内に掲示しています。職員に対しては、職員会議等で周知し、また、園長は毎年の面接において、保育理念や保育目標の理解についての確認を行っています。 ・重要な意思決定にあたっては、園長は保護者懇談会等を通して意見交換を行い、決定（変更）は「園だより」や掲示により伝えています。 ・主任は、個々の職員の能力や経験に合わせて助言や指導を行い、良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、事業運営に影響のある情報を、本部で開催の「園長会議」を通して入手して、職員会議等で説明し、情報の共有化を図っています。 ・保育園運営に関して、中長期的な事業の方向性を定めた計画は、本部において作成しています。また、本部では、次代の組織運営やサービスプロセスの新たな仕組み、幹部職員の計画的育成などについても検討しています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2006年11月24日頃～12月15日
- 2、実施方法 事業者から全園児の保護者に直接配付（手渡し）
各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関宛に匿名で返送。
- 3、回収率 約67.9%（56枚配付、38枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児...7人、1歳児...4人、2歳児...8人、3歳児...8人、4歳児...3人、5歳児...8人
ただし同一家族で複数名が園に在籍の場合には、下の子どもについて回答。

設問ごとの特徴

- 【問1】**保育目標や保育方針**は、「知っている」という回答が60.5%あり、そのうち95.8%が「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。
- 【問2】**入園時の状況**については、「見学の受け入れ」は全員（100%）が満足しています。「情報提供」「面接」「お子さんの様子や生育歴を聞く対応」にもほぼ満足しています。自由意見欄に「親切で丁寧な説明」「熱心に聞いていただいた」と、入園に際して安心感を得られたことを喜ぶ記述がありました。
*「満足」「どちらかといえば満足」をあわせて「満足（度）」とする。（以下同じ）
- 【問3】**年間計画**については、「保育や行事の説明」「保護者の要望が活かされているか」それぞれについて80%前後の方が満足しています。
- 【問4】**日常の保育「遊び」**については、「園の遊び」「おもちゃや教材」「園外活動」「友だちとの関わりや保育士との関係」の各項目とも、それぞれ90%以上と大変高い満足度を示しています。自由意見欄でも「一日の出来事を楽しそうに教えてくれる」「覚えてきた歌をうたって教えてくれたり、お友達の名前を言ったり」と満足している記述が見られます。「健康づくりへの取り組み」も90%近くが満足しています。
日常保育「生活」については、「給食メニューの充実」は全員（100%）が満足し、ほぼ全員が「給食を楽しんでいる」としています。「昼寝や休憩」「体調への気配り」「ケガの説明や対応」についても90%以上が満足しています。
- 【問5】**快適さや安全対策**では、「落ち着いて過ごせる雰囲気」「不審者侵入への備え」「衛生管理や感染症対策」については、それぞれ85%以上が満足しています。「園舎、園庭などの施設」は、63.1%は満足していますが、28.9%が不満と答えています。「ビル内であるため外での遊びが足りない」とする意見がある一方で、「園庭がなくても室内で広々と遊べている」という意見もあります。またセキュリティについても、「繰り返し見直しが必要」という意見と、「オートロックがあるので安心」という意見があります。
- 【問6】**園と保護者との連携・交流**については、各項目ともほぼ全員が満足と答えています。自由意見欄では、担当以外の先生でも対応してくれることへの感謝が見られます。
- 【問7】**職員の対応**については、全員（100%）が「お子さんが保育園生活を楽しんでいる」と答え、97.4%が「（子どもが）大切にされている」と満足しています。「アレルギーや障害のお子さんへの配慮」の満足度は65.8%となっていますが、該当しない保護者が「その他」と回答したためであり、不満があるわけではありません。自由意見欄には「安心できる」「不安なことを聞いてくれる」と感謝の声が見られます。
- 【問8】**総合満足度**は、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて97.4%と、大変満足度が高いです。
- 【問9】**園への要望**には、「小学校に上がった時に、幼稚園からの子供と学習面での差が不安」「散歩の事故に気をつけていただきたい」「発表会をしてほしい」などの意見がありました。

満足度の高かった点

- ◇ 「見学の受け入れ」「給食メニューの充実」「保育園生活を楽しんでいる」の3つの項目については全員（100%）が満足しています。「園外活動」「友だちとの関わりや保育士との関係」「給食を楽しんでいる」「昼寝や休憩」も満足が97.4%と特に高く、不満はゼロです。
- ◇ 「保護者との連携・交流」及び「職員の対応」等、不満がやすい項目については、満足度も高いですが、不満が大変低いことが特徴です。自由意見欄にも園に対しての肯定的な声が見られます。

満足度のやや低かった点

- ◇ 「園舎・園庭などの施設」については、「不満」と「やや不満」を合わせて28.9%となっています。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

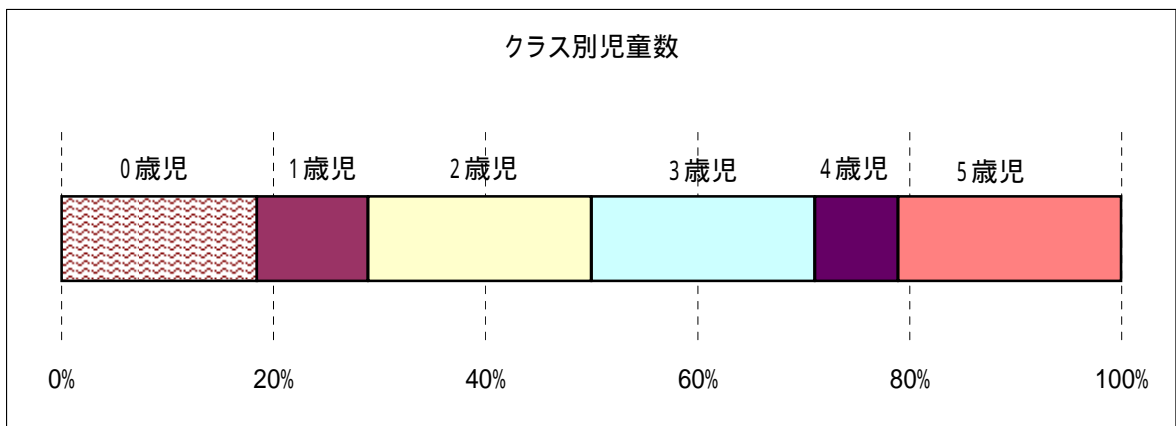
実施期間： 2006年 11月24日頃～12月15日

回収率： 67.9%（回収38枚 / 配付56枚）

【属性】

クラス別児童数 複数在籍の場合は、下の子どもで記入

合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
38	7	4	8	8	3	8	0



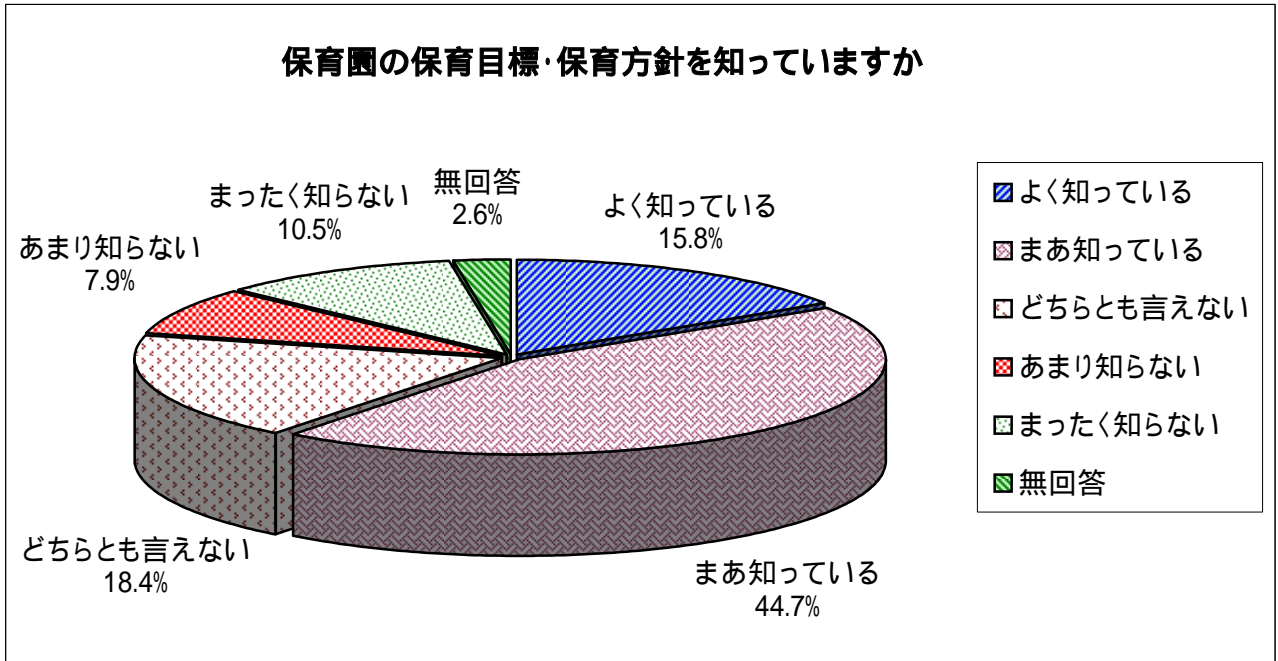
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	15.8	44.7	18.4	7.9	10.5	2.6	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

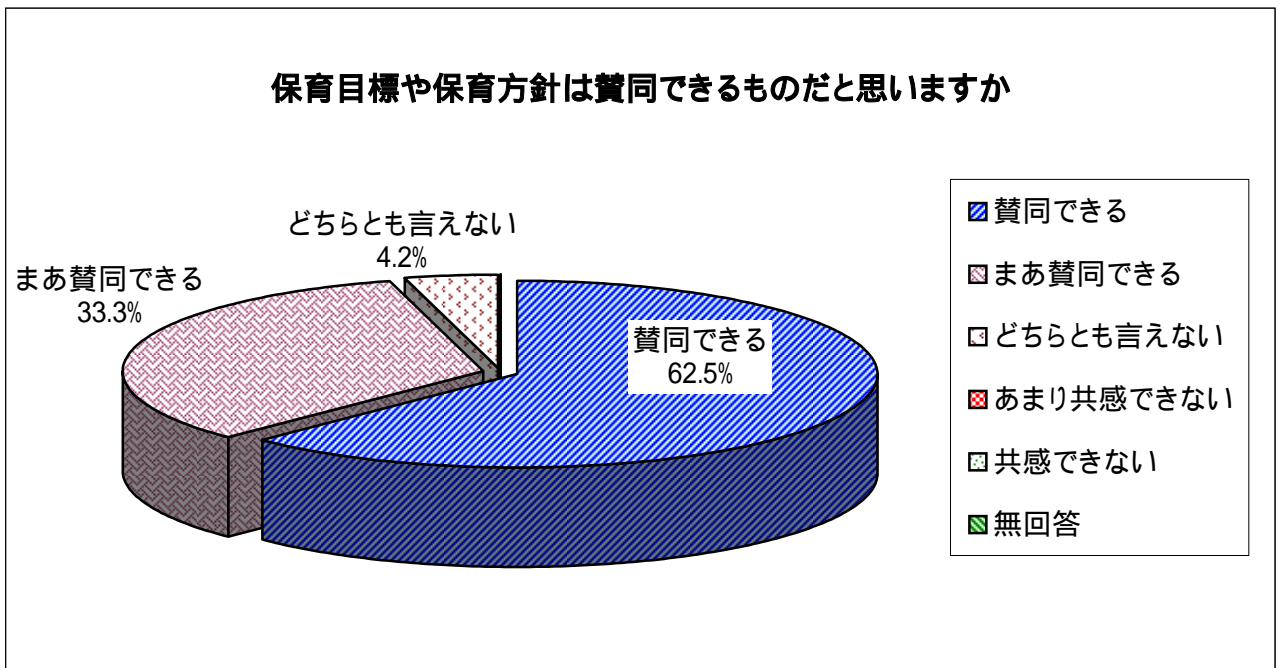


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり共感できない	共感できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	62.5	33.3	4.2	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について

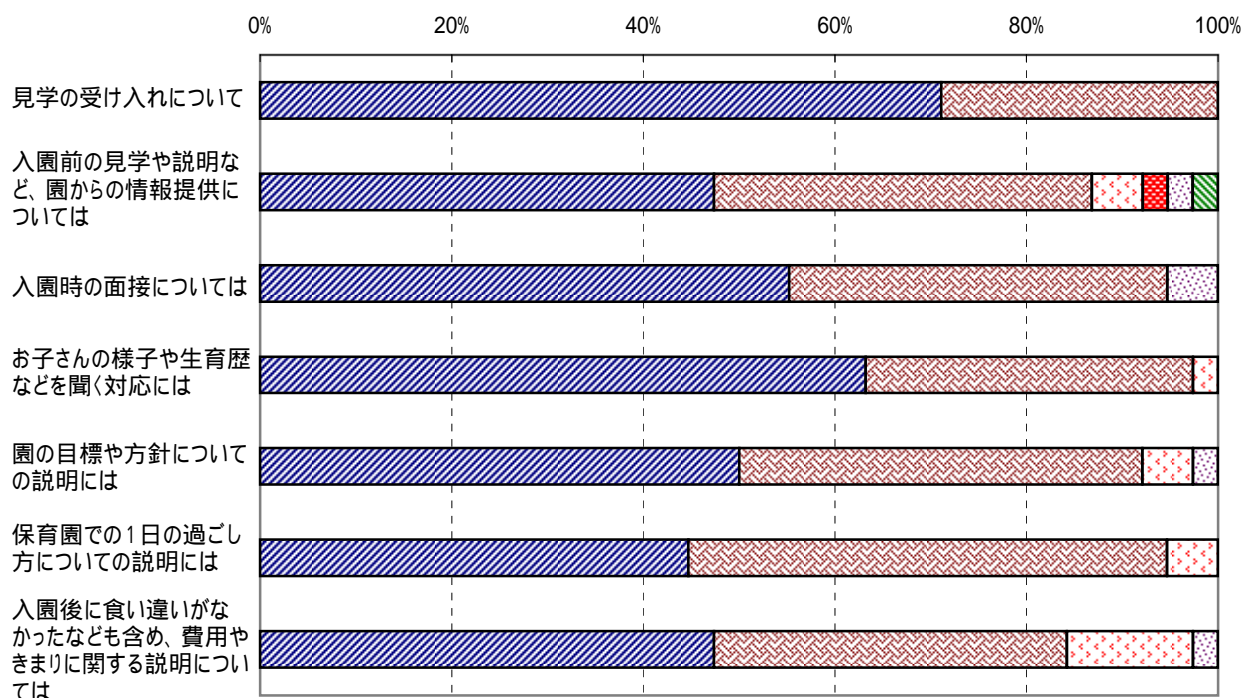
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	71.1	28.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	47.4	39.5	5.3	2.6	2.6	2.6	100
入園時の面接については	55.3	39.5	0.0	0.0	5.3	0.0	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	63.2	34.2	2.6	0.0	0.0	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	50.0	42.1	5.3	0.0	2.6	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	44.7	50.0	5.3	0.0	0.0	0.0	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	47.4	36.8	13.2	0.0	2.6	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



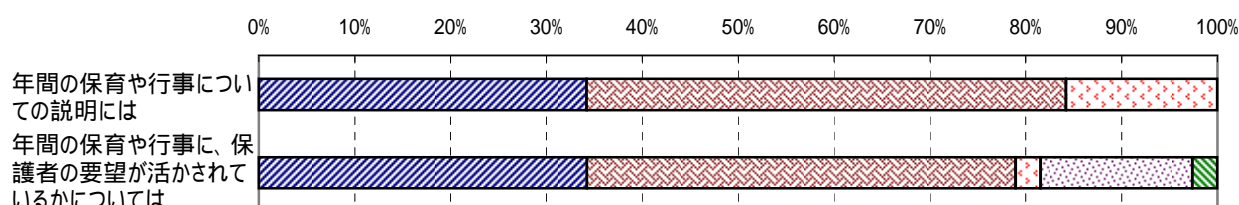
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	34.2	50.0	15.8	0.0	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	34.2	44.7	2.6	0.0	15.8	2.6	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

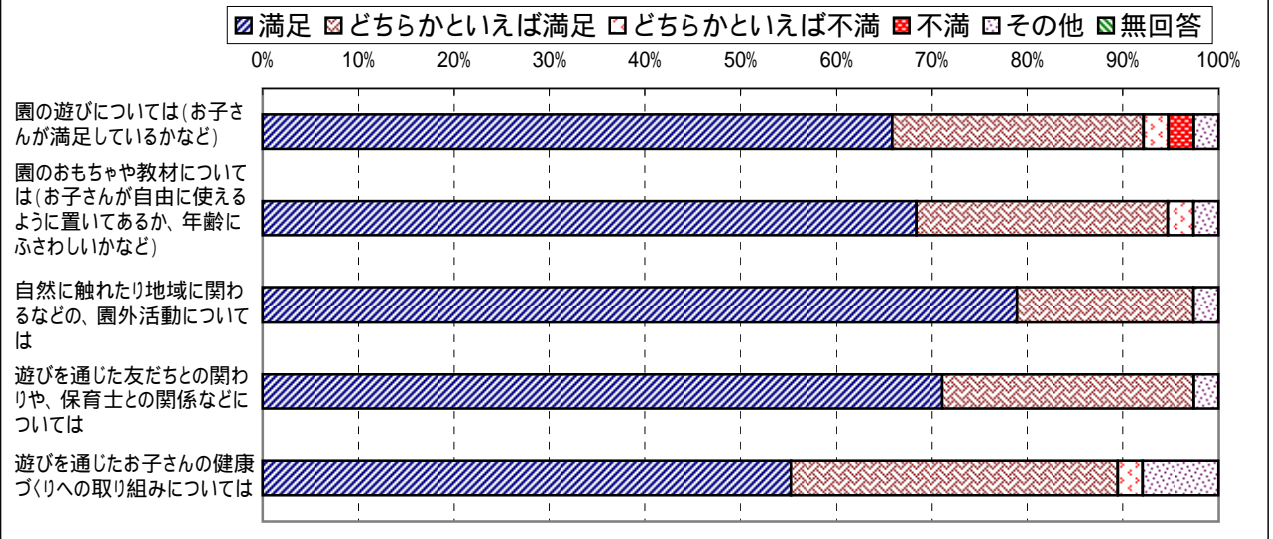


問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	65.8	26.3	2.6	2.6	2.6	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	68.4	26.3	2.6	0.0	2.6	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	78.9	18.4	0.0	0.0	2.6	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	71.1	26.3	0.0	0.0	2.6	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	55.3	34.2	2.6	0.0	7.9	0.0	100

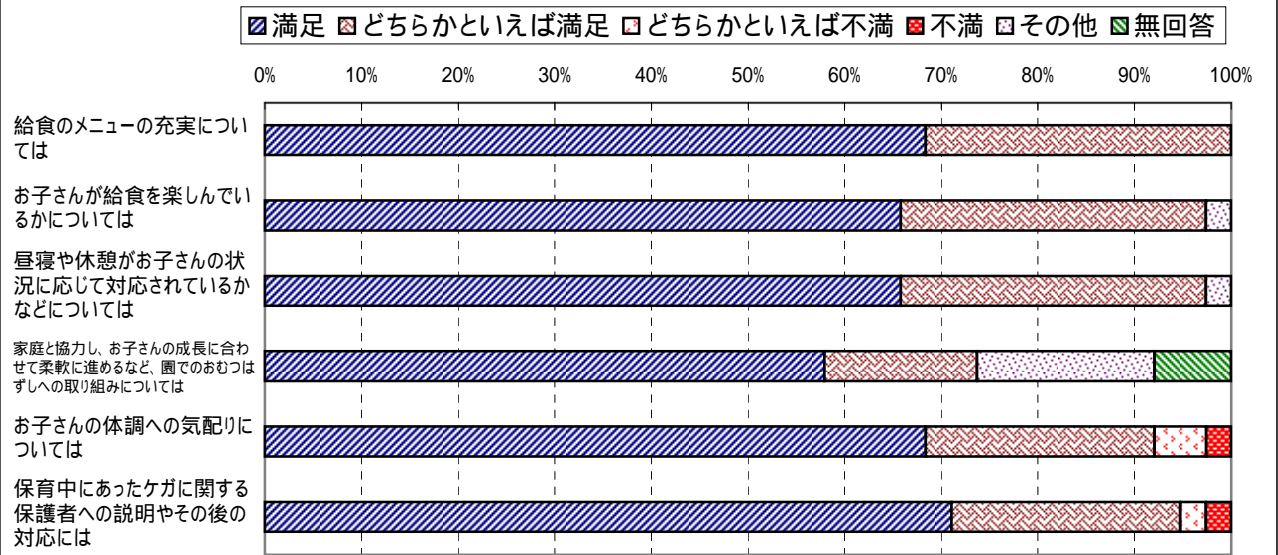
日常の保育内容「遊び」について



(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	68.4	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	65.8	31.6	0.0	0.0	2.6	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	65.8	31.6	0.0	0.0	2.6	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	57.9	15.8	0.0	0.0	18.4	7.9	100
お子さんの体調への気配りについては	68.4	23.7	5.3	2.6	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	71.1	23.7	2.6	2.6	0.0	0.0	100

日常の保育内容「生活」について



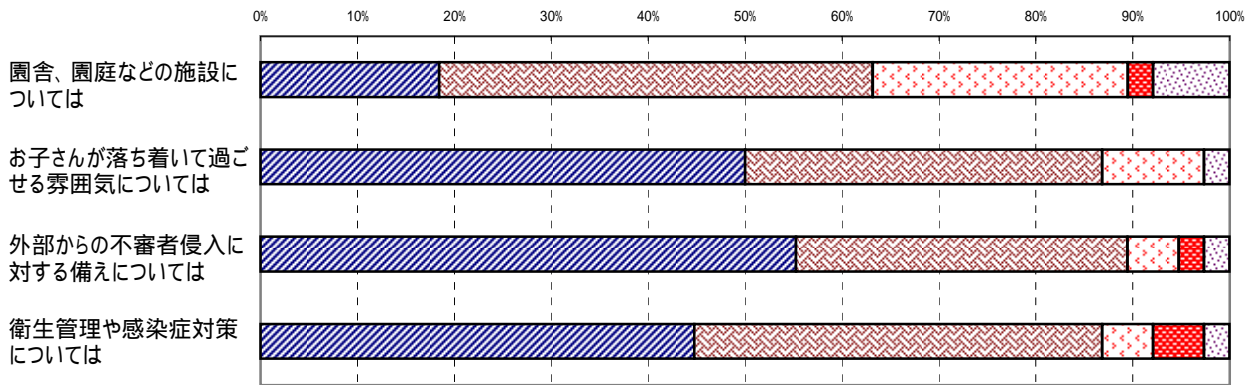
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	18.4	44.7	26.3	2.6	7.9	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	50.0	36.8	10.5	0.0	2.6	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	55.3	34.2	5.3	2.6	2.6	0.0	100
衛生管理や感染症対策については	44.7	42.1	5.3	5.3	2.6	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



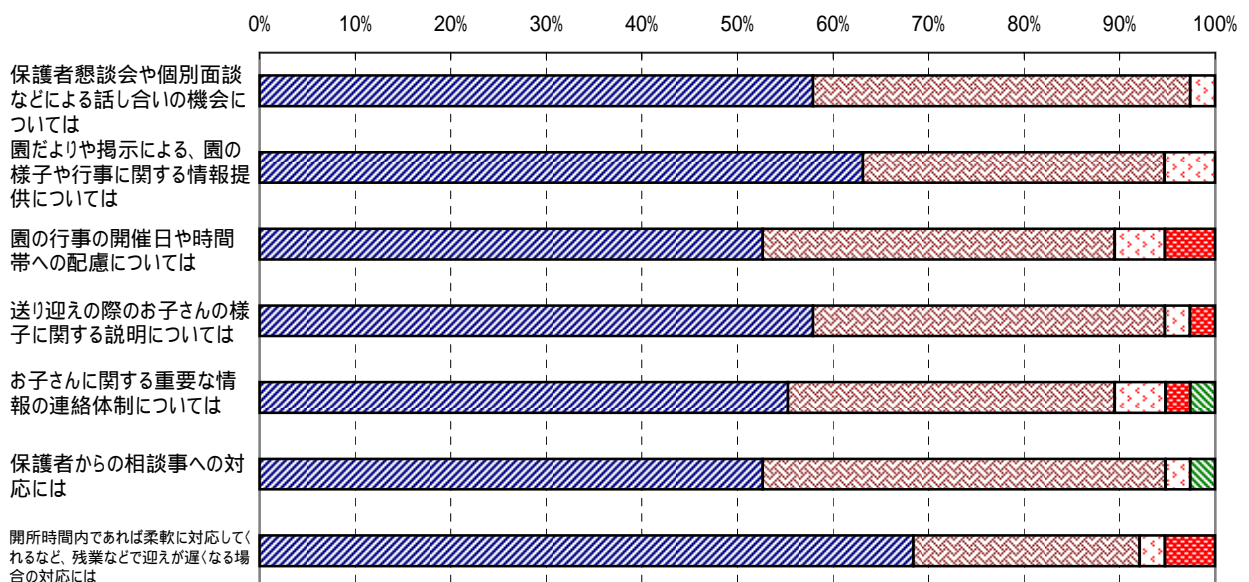
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	57.9	39.5	2.6	0.0	0.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	63.2	31.6	5.3	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	52.6	36.8	5.3	5.3	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	57.9	36.8	2.6	2.6	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	55.3	34.2	5.3	2.6	0.0	2.6	100
保護者からの相談事への対応には	52.6	42.1	2.6	0.0	0.0	2.6	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	68.4	23.7	2.6	5.3	0.0	0.0	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問7 職員の対応について

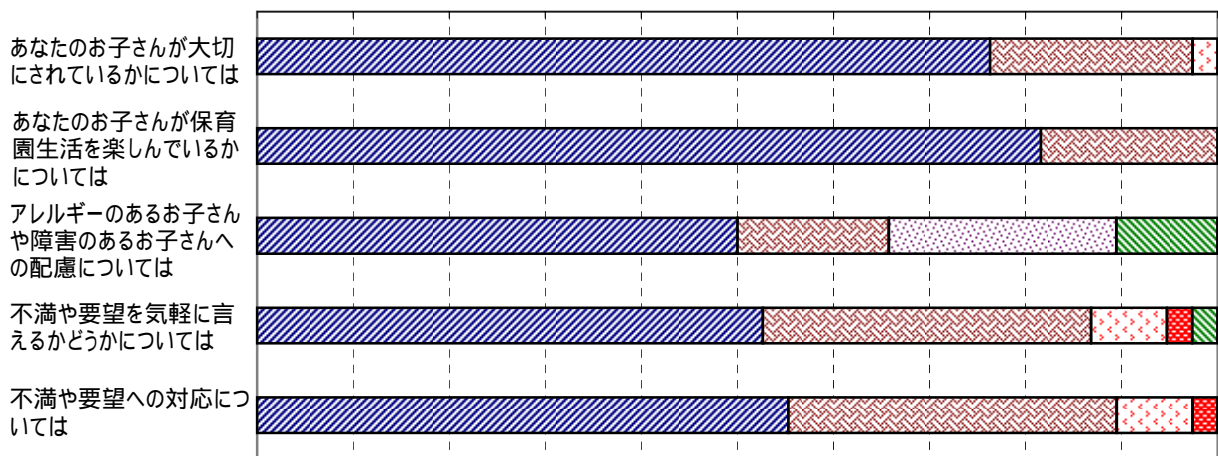
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	76.3	21.1	2.6	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	81.6	18.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	50.0	15.8	0.0	0.0	23.7	10.5	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	52.6	34.2	7.9	2.6	0.0	2.6	100
不満や要望への対応については	55.3	34.2	7.9	2.6	0.0	0.0	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

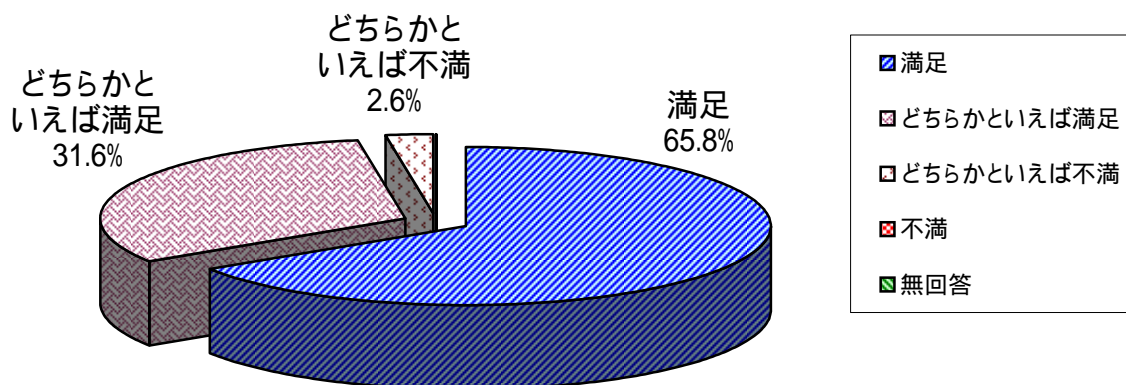


問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	65.8	31.6	2.6	0.0	0.0	100

総合満足度



利用者本人調査 分析

観察調査 1月23日(火) 9:10~12:30、16:30~17:50 全クラス対象
1月26日(金) 8:00~13:30 全クラス対象

観察中、5歳以上の園児を中心に適宜聞き取りを行いました。

1. 遊びについて

【1月23日】

0,1歳児は、天気が良かったのでベビーカーとカートに分乗して散歩に出かけました。歩きたい子は、保育士と手をつないで歩きます。ベビーカー内の0歳児は良い陽気に寝てしまいました。公園までは、花や木を見てゆっくりと歩きます。また、商店街の中では八百屋、魚屋、花屋等のお店の人から声をかけてもらい、野菜や魚や花をみんなで見ました。

公園に着くと、保育士が公園内の安全点検を行うのを待ち、その後子どもたちは遊び始めます。寝ていた子ども目を覚まし、滑り台やジャングルジム等で遊びました。

2,3,4,5歳児は、登園後、レゴやままごと、お絵かき等で自由に遊んだり、保育士も一緒になって汽車ごっこをしたりしています。皆がそろそろ朝のあいさつをし、「豆まきの歌」「カレンダーの歌」を歌います。その後2歳児は部屋へ戻りトイレに行きます。それからおやつを食べ、保育士に絵本を読んでもらってから散歩の用意です。

3,4,5歳児は、保育室でおやつを食べた後、散歩に出かけます。散歩の行き先は、0,1歳児とは異なる公園です。途中、商店街の人や工事をしている人と、気軽に挨拶を交わしたり話を聞いたりしました。公園に着くと遊びの約束事をみんなで確認してから、滑り台やタイヤ回し、円形ドッジボール、かけっこ等で遊びます。砂場セットを持って行った子どもは、地域の子とも一緒に砂場遊びをしました。

【1月26日】

保護者の都合による欠席が多く、こじんまりとした雰囲気の日でした。

0,1歳児は、手作りおもちゃで遊んだり、絵本を読んで貰ったりと自由に遊んだ後、散歩に出かけました。保育士は、公園に着くとタバコの吸殻等を拾ったりして安全確認をしました。砂場では持参した砂場セットで遊び、それに飽きると鬼ごっこをしました。

3,4,5歳児は、年齢ごとに分かれて鬼の面を作りました。どの子どもお面作りには熱心に取り組み、出来上がったお面は、のりが乾き易いように洗濯干しに吊り下げてもらいました。制作が早く終わった3歳児は、保育士から絵本を読んでもらった後、お昼まで時間があつたので近所を散歩してこようと外に出かけました。商店街を通り抜け、川に沿って歩きながら大きな魚が泳いでいるのを見つけて喜んでいました。4,5歳児は制作後、少し遊んで昼食の時間になりました。

午睡後の自由遊びでは、どの子ども好きな遊びをしています。保育士の「何して遊ぶ?」という言葉かけに口々に遊具の名前が出ていました。カブラという木片を使ってピラミッドや家、ベンチ等を作って遊びました。

2. 食事について

0歳児クラスの子は、手で食べる子もいますが、ほとんどの子はスプーンやフォークを使って食べています。皆、離乳食を卒業し、小分けにしてもらったおかずをどの子ども残さずによく食べました。小房になったプロッコリーもよくかんで食べました。保育士がそばに居り、子どもは安心して落ち着いて食べていました。

1歳児の中に好き嫌いを言ってなかなか食べない子どもがいて、保育士が困っていました。

3,4,5歳児の混合組では、食事当番が配膳を手伝ったり、食前食後のあいさつを担当したりしています。全員が自分で制作したランチョンマットを敷き、そのマットの3つの円の通りに食器を並べていただきます。3つの円は、ご飯、おかず、汁物を表しており、交互に食べるようにと指導されています。子どもに聞くと食事は美味しいと答えました。残す子もあまりおらず、よく食べました。

3. 排泄について

0歳児は、おやつの前、散歩の前、給食の前等に保育士が一人ひとり確認して、おむつ台の上に寝かせてオムツを替えています。尿の場合も濡れティッシュでお尻を拭いています。

1歳児は、オムツを替える前に「一度おまるに座ってみよう」と保育士に勧められ、座る体験をしています。

保育士は、次の行動へ移る前に、子どもへ排泄の声かけをしています。

4. 清潔・健康について

子どもは、登園すると靴下を脱ぎ、はいてきた靴の中に入れて靴箱に置きます。室内では全員裸足です。散歩から戻ると、0歳児は自分のタオルで手を拭いてもらいます。1歳児は、自らシャボンをつけて流水で手を洗います。また、他の年齢の子どもも手洗い・うがいを行っていました。洗った手は、備え付けの紙布巾で拭き、紙布巾はゴミ箱に捨てています。

公園で砂場遊び等をして手が汚れた場合は、公園の水道で洗いました。年少の子は保育士が手伝いました。鼻水をたらしている子が何人もいましたが、年少の子は保育士がティッシュで拭いてあげ、大きい子は自分で拭いたり、保育士に促されて拭いたりしていました。

5. いやな思いへの対応や権利を守ることにについて

0歳児は、けんかが見当たりませんでした。保育士がよく話を聞いていますし、絶えず話しかけたり手遊びで子どもの関心を引き付けたりしています。

トランプの取り合いやお面の製作中のちょっとしたいざこざ、公園で遊具の取り合いなどがありましたが、大きなけんかに発展することもなく収まりました。けんかやいざこざについて、保育士はできるだけ「口」で言うように指導しています。

6. 職員について

職員は、遊びや緊急の場合を除き、子どもを「さん」付けで呼ぶように心がけています。保育士の言葉かけの中に「あら、素敵!」「上手!」などがあり、子どものやる気を起こさせています。時折きつい言葉かけをしたり厳しい態度を取ったりする場面が見受けられました。話し声は普通で、子どもにもよく分かる言葉を使っています。

公園に着くとすぐに遊ばせるのではなく、まず保育士が公園内に危険なものがないか、遊具は大丈夫か、危険物は落ちていないかを点検します。その後、「遊びのお約束」を子どもに発言させてから遊ばせています。また、できるだけ散歩に出かけるように心がけており、散歩の途中の歩き方などもよく指導されていることが伺えます。横断歩道や道を渡るときは常に気をつけており、子どもたちもよく守っています。保育士同士は公園でも園内でもよく連携がとれています。

まとめ

子どもたちはどの子どもも素直な様子で、もめごともなく、5歳児は年少の子の面倒をさりげなくよく見えています。5歳児は、掃除当番、飼育当番、赤ちゃん当番を毎日楽しみに担当しています。例えば赤ちゃん当番では、「布団敷き」「着替え当番」「2歳児の午睡時に寝かせつける」等の役割があります。

また、「できるだけ戸外活動を取り入れる」という園の方針の下、できるだけ散歩に出かけています。散歩時の様子は、慣れた様子できちんと道路を歩いており、また年長児は年少児をかばって歩いています。公園でも、慣れた様子で元気に遊んでいます。

子どもたちは、こじんまりとした温かい雰囲気の中で過ごしています。

事業者意見

株式会社サクセスアカデミー
にじいろ保育園サクセス久里浜ポピー
園長 木村 尚美

第三者評価を受けるまでの事前準備はすでに作ってあるマニュアルなどを整理するだけでもなかなか時間のかかることでしたが、振り返ってみれば有意義なことでした。職員同士の意思疎通がよくなったこと、項目のポイントがはっきりしていることもあり、保育者の姿勢が、「ここはこうしたい」「こうしたらどうか」と積極的になってきたこと、園の現状がはっきり認識できたことで明確なビジョンが立てやすくなりました。また、「2日だけの訪問調査やヒヤリングだけで、園のすべてがわかるのか」という思いもありましたが、園の環境作りや保育内容の理解を通じて丁寧に評価していただいたと思います。今後は、評価内容での問題点を改善し、実施後の維持向上を図り、第三者評価が、今以上に園の資質向上に役立つ仕組みとして、生かされることを望んでいます。